

郷土愛通信

令和2年9月3日
第9号
郷土愛プロジェクト

With コロナ 「できない」じゃなくて 知恵をしぼって「これでいこう！」へ

コロナ禍の中、様々なイベントや行事が中止を余儀なくされ、地域全体が閉塞感の増す毎日です。郷土愛プロジェクトの本年度事業も、キャリア教育産学官交流会の延期や、中学校・高校での従来の学校訪問型キャリアフェスの中止など、事業内容変更の必要なことが多くあります。そんな中ですが「コロナだから仕方がない」ではなく、各事業の目的、めあてをもう一度見直し、これまでの経過を踏まえて、形を替えての事業の在り方を模索し「よし、これでいこう！」へ動き始めています。地域の皆様、子どもたちの安全第一ですが、思いの共有ができる方法を多角的に探って実施につなげたいと考えています。これからもご協力をお願いします。

久々の「郷土愛通信」では、「これでいこう！」で動き始めている主催事業、コーディネート事業の紹介をします。

第1回キャリア教育担当者会議

6月24日に実施しました。コロナ禍の中、各市町村で実施するキャリア教育の実施内容について出しました。各市町村からは、中学生職場体験学習の中止・延期の話題が出され、受け入れ事業所の立場に立てば、やむを得ないとの意見が出ました。そんな中、箕輪町から、「保護者の職業観を語ってもらう」取り組みについて紹介もらい、保護者が学校教育、キャリア教育を共につくる新しい学習スタイルに学びました。また飯島町では、飯島町在住の方を中学校に招いて「町内の大人と語る会」の企画の紹介がありました。「今、輝いている大人に会う」ことの意義と大切さを両町の取り組みから感じました。今後、キャリア教育に役立つ「上伊那の人材バンク」の作成をしていくことになりました。

上伊那10高校紹介HP作成開始

誰にも予測不能といわれる10年後の社会を生き抜いていく子どもたちのために、教育も今大きく変わろうとしています。私たち郷土愛PJも、未来ある子どもたちのために、少しでもお役に立てることをお手伝いしていこうと考えています。その一つが、上伊那郡内の高校10校の紹介です。

今後、小中高校で学んだ力そのものの評価に加えて、学ぶ力を育てることに力点が置かれる世の中が来ると考えられている中、子ども達に自分のやりたいこと、興味関心に基づいた高校選択のための一助にしてほしいと考え、高校紹介のHPを作成することにしました。現行の紹介記事をリニューアルします。

各高校の特色ある取り組みの紹介や高校生による学校魅力紹介、現役高校へのインタビュー欄など、現在取り組み進行中です。令和3年度6月にUPします。



コロナ禍で帰省できない上伊那出身の皆さんへの応援メッセージを作成し、市町村の応援物資の中に入れていただきました。



今年も大勢の皆様のご協力の下、44名の学生の参加でオンラインで実施し実りある合宿でした。

上伊那農業高校

上伊那農業高校では2学年より7コースに分かれて学習します。7月3日に「地域連絡協議会」が行われ、それぞれのコースの学習内容の紹介と地域連携の状況の報告がありました。

GLコースは、伊那谷の活性化を目的として、アンテナショップや高校生が運営する「MIRAIカンパニー」の設立に向けて商品開発、経営のための学びを深めているとのお話がありました。

実際の学びの進捗状況は、YouTubeやfacebookで生徒自身がどんどん発信しています。

里山コースでも、(株)やまとわさんの指導・協力で、自校の木を使った「経木のランプシェード」作りが行われており、先日、伊那弥生ヶ丘高校美術の皆さんに、試作品を提示し、デザインや機能性についての意見交換がオンラインで実施されました。

地域連絡協議会の中で、伊藤校長先生は、「高校再編が始まっているが、新しい高校像を見据え、上農高校がその先頭を切りたい」と力強くお話されました。



「こんにちは先生」伊那北高校



「商品化プロセスを学ぶ」上農高校



「YAYOI×地域×Zoom」伊那弥生ヶ丘高校

地域を学ぶ高校生
|| さまざまな授業への挑戦 ||



いいね！高校生

伊那北高校

「伊那谷で活躍する素敵な大人の魅力に迫る！」をテーマに、少人数グループでの講師インタビューを10月に実施の予定です。これは、伝統的に続いている「こんにちは先輩」の授業の一環です。郷土愛PJも講師選定などのお手伝いをしています。今年は、生徒にコミュニケーション力をつけたいということから、講師へのインタビュー形式での実施が企画され、現在講師選定に入っています。

その前座で、7月に「こんにちは先生」と題して、校内の先生方を講師にインタビューをする授業が実施されました。

このような授業のメリットは、一斉授業と異なり、「聞く・話す」の役割分担がなく対話形式での授業進行ができること。また生徒の為の学習でありながら、講師になった先生や大人の方々が、自分の人生に対するリフレクションができ、時には立ち止まって自己をみつめる機会にもなることです。

Withコロナ。ピンチをチャンスにして、新しい事業の形を模索し実施していきます！

【授業感想：長野県教育委員会 学びの改革支援課】

本日の伊那弥生ヶ丘高校でのオンライン授業を拝見いたしました。経験豊富な講師の先生方のお話が大変興味深く、海外での経験が、自分の生まれ育った日本や地域を改めて知り、見つめ直す機会につながるというお話が複数の講師の先生方からうかがえたように思います。これから地域を担う生徒たちが、地域のどこいうところを生かしていくかを考える際、地域だけでなく広く世界を見つめることが有益であるということが、実際に経験を積まれてきた先生方の話だからこそ生徒に伝わった部分も大きいのではないのでしょうか。

また、今回は、Zoomを利用してどのように授業を展開されるのか、という点も興味深く見させていただきました。Googleフォームを活用したアンケートで生徒の反応を即時に生かすなど、大変参考になりました。

未来ラボin伊那谷

7月3日に「未来ラボin伊那谷」を実施しました。これまで「夢大学」という名称で、地域のリーダー育成事業を実施してきましたが、今回のコロナ禍をチャンスに変えて、オンラインでの次世代リーダー育成に取り組むこととし、名称も改めました。地域のこれからの一緒に考え、共々に活動してくれる熱い方々と、2か月に1回開催を目標に開催します。

